



## 神の主権と人の応答

エリヤが民全体に「私のそばに近寄りなさい」と言ったので、民はみな彼に近寄って来た。彼は、壊れていた主の祭壇を築き直した。列王記第一 18 章 30 節

アメリカの教会史をふり返る時、主が恵みによって生きとしたるリバイバルを各時代に起こしてこられた歩みを見ることができます。18 世紀の第一次大覚醒（※1）ではジョン・エドワーズやジョージ・ホイットフィールドが用いられました。続く 19 世紀初頭の第二次大覚醒（※2）では、ニューヨーク州を中心に著しいリバイバルが起こりました。その運動の一つの象徴的存在が、伝道者チャールズ・G・フィニー（以下、フィニー）です。

このフィニーは、「リバイバルは奇跡ではない」という言葉を語った人物としても知られています（※3）。私たちの多くは、リバイバルは神が起こして下さるもの、つまり神の主権に属する奇跡であると考えます。フィニーのこの言葉を文字通り受け取ると、神の主権を否定しているかのような、リバイバルがどこか人間の努力で達成可能であるかのような、炎上してもおかしくない発言に聞こえるかもしれません。

しかし、実際の彼の意図は、決して神の主権を軽視するものではありませんでした。むしろ彼は、リバイバルは神の主権によって起こるとい根本を認めつつ、同時に教会の信仰的責務、つまり罪の悔い改め、熱心な祈り、そして福音宣教がリバイバルの「備え」として重要であることを強調したのです。

この考え方は、聖書のいくつかの場面と共鳴しています。たとえば、預言者エリヤはカルメル山で主の火が降る前に、壊れた祭壇を築き直し、信仰による備えを行っています（列王記第一 18:30-35）。また、初代教会の人々は、ペンテコステの約束が成就する前に、一つになって集まり祈りを捧げていました（使徒の働き 1:14）。どちらの場合も、救い

の働きを成就するのは神の主権ですが、その前に神の民が整えられるプロセスが描かれています。

フィニーは、こうした聖書的パターンを「人間の責任」として積極的に取り上げました。彼の思想はやや大胆に聞こえる面こそありますが、「神が主権的に働かれるからこそ、教会は信仰をもって応答する」という、健全な協働の枠組みに立っています。

今日の私たちも、同じ姿勢で歩みたいと願います。リバイバルは、決して人間の努力で作りに出せるものではありません。けれども、教会が祈り、悔い改め、宣教に励む時、神はご自身の時に、恵みの御手をもって働かれます。主の主権を信頼しつつ、祈りと従順をもって、なおリバイバルを求め続けていきましょう。

※1 第一次大覚醒（First Great Awakening）は、18 世紀アメリカで起きた最初の大規模リバイバルを指します。

※2 第二次大覚醒（Second Great Awakening）は、アメリカ南部のキャンプミーティングで始まり、ニューイングランドを経て、ニューヨーク西部へと広がった、19 世紀前半の大規模リバイバルを指します。

※3 Charles G. Finney, Lectures on Revivals of Religion (New York: Fleming H. Revell Company) Chapter 1. 本書の中でフィニーは、「リバイバルは、いかなる意味でも奇跡ではなく、奇跡に依存するものでもない。それは、神が定めた手段を正しく用いる時にもたらされる必然的な結果なのだ」と述べています。



平岡新人

リバイバルミッション  
サーバントチーム

# 2026 Go to Mission

## 2026年も福音宣教の働きは継続されます！！ たましいの救いのために全力で仕えます！

昨年 2024 年は全国で 154 集会開催され、今年は 124 集会を開催予定です。  
どの集会にも不思議なようにチラシなどの案内を見て集会に来て下さる新  
しい方がおられます。2026 年も下記のスケジュールで開催を計画していま  
す。是非あなたの教会、地域で開催ください。お申し込みは事務局まで！



### 2026 年度開催予定

#### ○スケジュール

- |  |  |
|--|--|
| ①中部地区 2/11 (水・祝) — 2/15 (日)<br>音楽ゲスト◎中村匡 メッセージ◎田中進 | ②九州地区 3/11 (水) — 3/15 (日)<br>音楽ゲスト◎Duo B→Z メッセージ◎平岡修治  |
| ③関西地区 3/25 (水) — 3/29 (日)<br>音楽ゲスト◎関真哉 メッセージ◎平岡修治  | ④北海道地区 4/15 (水) — 4/19 (日)<br>音楽ゲスト◎安武玄晃 メッセージ◎小山健     |
| ⑤北陸地区 5/27 (水) — 5/31 (日)<br>音楽ゲスト◎エイジア メッセージ◎神戸輝明 | ⑥関東地区 6/10 (水) — 6/14 (日)<br>音楽ゲスト◎エイジア メッセージ◎滝元順      |
| ⑦中国地区 6/24 (水) — 6/28 (日)<br>音楽ゲスト◎井草聖二 メッセージ◎平岡修治 | ⑧中部地区 7/1 (水) — 7/5 (日)<br>音楽ゲスト◎チェ・ヨンドウ メッセージ◎滝元順     |
| ⑨関西地区 7/22 (水) — 7/26 (日)<br>音楽ゲスト◎安武玄晃 メッセージ◎田中進  | ⑩甲信越地区 9/9 (水) — 9/13 (日)<br>音楽ゲスト◎石塚誠孝 メッセージ◎小山健      |
| ⑪四国地区 9/30 (水) — 10/4 (日)<br>音楽ゲスト◎安武玄晃 メッセージ◎滝元順  | ⑫沖縄地区 10/21 (水) — 10/25 (日)<br>音楽ゲスト◎調整中 メッセージ◎平岡修治    |
| ⑬関東地区 11/4 (水) — 11/8 (日)<br>音楽ゲスト◎関真哉 メッセージ◎平岡修治  | ⑭東北地区 11/11 (水) — 11/15 (日)<br>音楽ゲスト◎チェ・ヨンドウ メッセージ◎田中進 |

※地区、日程、メッセンジャー、ゲストは変更することもありますのでご了承ください。  
※上記スケジュール以外でも開催可能です。日程などご相談ください。

- ・ Go to ミッション開催は講師、音楽ゲスト、音響がセットになった伝道集会です。
- ・ 開催のための費用は原則席上献金のみです。
- ・ 集会案内のためのカラー印刷したオリジナルチラシを 200 枚まで無料。(増刷も有料で可能です)
- ・ 集会内容は伝道集会を基本としていますが、リバイバル聖会などの信徒向けの集会も可能です。
- ・ 一つの教会で開催が難しい場合は、地域の教会と連携しての開催ももちろん大丈夫です。
- ・ 教会だけでなく、福祉施設、学校、病院等でも開催可能です。
- ・ 上記日程以外はメッセンジャーや音楽ゲストのみの派遣も可能です。
- ・ 講師のみ派遣では、霊的戦いセミナーなどのセミナーも可能です。



# 2025 Go to Mission

## 12月開催教会

関西地区 ●音楽ゲスト/Duo B→Z

12月14日[日]10:30、13:30 柏原教会 (大阪)



## ◎開催レポート 沖縄地区

関西地区にて10月17日～26日の10日間、Go to ミッションが開催されました。

主の語りかけに期待して・・・沖縄県・聖泉キリスト教会主をあがめ賛美します。リバイバルミッション事務局から私たちの教会で伝道集会を開催してほしい旨の電話がありました。集会日が平日であり、祈祷会でも少人数しか集まらない現状を思い浮かべ迷いました。しかしメールには「人数ではなく、救いを知らない一人のために全力で奉仕したい」とあり、心を動かされました。二度のメールと三度目に電話連絡を受け、少年サムエルとエリの場面が浮かび、あぁ主が教会に語りたのだと導きを感じて決心しました。集会には多くの人が集い関真哉氏のサクソ演奏と証しに会衆の心が開かれ、リラックスする中、平岡修治先生のユーモアあふれる聖書メッセージが心に染み込み、初来会者数名も喜びに満たされ、教会から離れていた方の信仰回復もありました。参加者の喜ぶ姿に「新しいことが始まっている」と感じ、主に期待しています。このようなGo to ミッションの働きが日本中に広がっているのを覚え、失われた魂に福音が届くことをお祈りします(ルカ19:10)。リバイバルミッション関係者の全ての方々から感謝いたします。

聖泉キリスト教会牧師 安慶名正春



## 四国地区

四国地区にて11月5～9日の5日間、開催されました。

11月5日(水)に、田中進先生、ウクレレの演奏者として中村匡さんにお越しいただきました。30年程前に、現在の教会の前身である山間部の教会に、それぞれのお父さま、田中政男先生と中村裕二先生にもご奉仕いただきました。宣教スピリットを受け継いだお二人による集会は、参加者の度肝を抜くとても恵まれた集会になりました。今回は、ウィークデーの夜7時であったため、対象を絞った集会となりました。子供英会話の親子と求道者を対象としての集会となりましたので、参加者は25名程でしたが、ネット中継では限定配信にもかかわらず、65名を超える参加者が与えられました。集会前から神さまからの「想定外の恵み」を感じていました。求道者のお一人が「聖書を読みたい」との感想をいただきました。この方は集会後の礼拝や特集にも引き続き参加されています。ウクレレの賛美と説教を通して、彼らの心に確かに福音が届いたと思います。私たちの思いや願いを遙かに超えた神さまの働きに心から感謝いたします。

高知グレースチャーチ牧師 佐伯真



# Pray for . . .

怒りという感情に目を向けることも普段ないかもしれません。今回もSIRの瀧元望氏に、この「怒り」に関して、とりなしの視点から伺いました。

## 暗やみに迷い込まないために

「怒っても、罪を犯してはなりません。憤ったままで日が暮れるようであってははいけません。悪魔に機会を与えないようにしなさい。(エペソ人への手紙 4章 26～27節)」

コロナとその後の時代、「怒り」がこの世界を動かしているように感じます。「これこそが正しい」という主張や意見、そして、「これが隠された真実だ」と叫ぶ声がSNSやインターネットを通して怒濤のように流れてきて、いつしか私たちはその影響を受け、「怒り」に心が支配されてしまいがちです。

最近では、隣国である「中国」を「敵」とし、その反動として「日本が一番だ」と言う主張が多くの人々の心をとらえるようになり、過激な主張に心をなびかせているクリスチャンすらいます。

「中国人」とひと一言で括ろうとしますが、台湾の方もあれば、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシアなどを母国とする中国人もいます。中国本土でも、その出身地によって文化も言葉さえ違う地域もあり、一括りに「中国人」と呼んで排除することには無理があるように感じます。

そして、何よりもその「中国本土」の人々こそ、イエス様の救いを必要とする、福音を宣べ伝えていかななくてはいけない滅びに向かう愛すべき人々なのです。

私たちは、「怒り」を抱くことを通して、「悪魔に機会を与えて」いないでしょうか？

政府の強い統制下にある中国本土には、今も地下で、命がけで戦い、信仰を守り、イエス様の福音を宣べ伝えている本物のクリスチャンがいます。もし、私たちが「中国」に対して「怒り」をもって、憎しみを抱いてしまうなら、それこそが悪魔の思うつぼなのです。

「律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。(ガラテヤ人への手紙 5章 14節)」

隣り人であるからこそ生じる摩擦や課題。それを乗り越えてこそ隣り人を愛する事と言えます。

「光の中にいると言いながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目を見えなくしたからです。(ヨハネの手紙第一 2章 9～11節)」

いつの間にか闇が私たちを覆い、自分がどこに行くのかわからなくなっていないかと立ち止まって、悔い改め、向きを変えなければいけないのではないのでしょうか。

「幸いなことよ悪しき者のはかりごとによらずに歩まず罪人の道に立たず嘲る者の座に着かない人。主のおしえを喜びとし昼も夜もおしえを口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結びその葉は枯れずそのなすことはすべて栄える。(詩篇 1篇 1～3節)」

もしかして、私たちは、この社会の多くの問題に対して第三者的な立場を取り、悪者のはかりごとにより陥ったり、無責任に「嘲る者」の座に着いてしまっていないのかと点検する必要があります。

テレビやインターネットから流れてくる「嘲る者」の声に欺されないで、主の教えを喜びとしていきましょう。

とりなし、霊的戦いの動機付けは、イエス様の愛にあります。敵である悪魔に機会を与えることなく、堅く立って揺るぐことなく戦い続けるものとされましょう。



瀧元望

SIR ネットワーク代表

# 戦略的 とりなしと 調査専門課程 12月

ハイブリッド開催

## 12月6日[土]

10:00—16:15

講師／瀧元望ほか

受講料／5,500円

(3セッション)

スケジュール

セッション① 10:00~11:30

昼食

(会場参加者のみ別途600円必要)

セッション② 13:00~14:30

セッション③ 14:45~16:15

参加方法

①会場での参加

②当日、Zoomでの参加

(顔出しなし、視聴のみの参加も可能)

③後日ビデオ配信視聴での参加

(12月16日配信開始予定)

12月は、11月末に行かせて頂いたタラワ(キリバス共和国)でのとりなしの報告をさせていただきます。谷合さんによるシリーズは、「天皇と神社」という最も興味深いテーマです。目からウロコの内容です。丸山さんからは、昨今日本でも話題になる政治とポピュリズムに焦点を絞った研究発表があります。初めての方にも分かりやすく語って下さいます。是非、ご参加下さい。

会場／リバイバルミッションセンター

# レポート ソウル&春川 霊的戦いセミナー@韓国 2025.11

11月10日、11日の二日間、韓国の春川とソウルにおいて滝元順先生による霊的戦い専門課程 in 韓国が開催されました。セミナー参加者の方に感想を伺いました。



以前、短期宣教で日本の大学生に福音を伝える機会が与えられましたが、今回息子が日本人と結婚します。息子の結婚を控え、このタイミングに滝元順先生の霊的戦いセミナーに参加することができました。結婚を通して日韓の間にある暗闇の力が去り神の国が臨んで、主の栄光が表されることを期待します。イ・サンスク

イエス様に学ぶ霊的戦いの基本、バベルの塔とシャーマニズム、また韓日関係に根深い統一教の正体について語って下さいました。日韓豪のシャーマニズムという同じ霊的土台を、教会が1つになって勝ち取っていく時、暗闇は逃げ去り、神の国が臨み、さらに世界宣教が開かれていくという希望が与えられました。とても励まされました！蓮池光世



## 霊的戦い専門課程 第14期

第14期Vol.4 ハイブリッド開催

1月26日[月]—27日[火]

講師／滝元順、末宗宣行、鈴木陽介、ほか

受講料／8,800円[1回10セッション]

宿泊・食事代(1泊2食・朝軽食付)5,500円

※配信は14期終了2026年9月末まで視聴可能

※会場での受講者も配信を視聴することができます。

※2月9日配信開始予定です。

※vol.3の配信での受講も只今受け付けております。(配信開始予定12月8日)

会場／リバイバルミッションセンター

スケジュール

1月26日[月]

13:30～受付

14:00～15:30セッション①②

15:40～17:10セッション③④

17:30～夕食

19:00～20:30研究発表・交わり

1月27日[火]

9:00～10:30セッション⑤⑥

10:40～12:10セッション⑦⑧

12:10～昼食

13:00～14:30セッション⑨⑩

Wakamono Worship Wave presents



# リバイバル ブートキャンプ

参加登録費

**無料!**

12/28(日)19:00~  
12/29(月)~16:00

主の勇士となるための霊的ブートキャンプ！一年の最後に共に集まって、  
祈りと賛美と学びの中で、恵みと油注ぎを受け、リバイバルのために前進していきましょう！！  
どの年代の方も子連れでの参加も、部分的な参加も大歓迎です

## EVENT SCHEDULE

12/28~  
12/29

宿泊費 500円(寝袋持参)  
朝食 500円  
昼食 1500円 (12/14までの登録で1000円)  
小学生以下 500円 3歳以下 無料

SUN 28	18:00~19:00	受付開始
	19:00~20:30	Opening Session : メインスピーカー 神戸輝明
	21:00~	河川敷 賛美&祈禱会
MON 29	8:30~9:30	朝食&受付
	9:30~11:00	Morning Session : メインスピーカー 小坂叡華
	11:00~11:45	分科会① <ul style="list-style-type: none"> <li>霊的戦い 滝元望</li> <li>賛美 小坂叡華</li> <li>伝道 Mark Busby</li> <li>結婚・恋愛 小山健</li> </ul>
	12:00~13:30	昼食 本格イタリアンとローストビーフのピュッフェ
	13:30~14:15	分科会②
	14:30~16:00	Last Session : メインスピーカー 小山健

### メインスピーカー

小坂(高) 叡華 ミクタムレコード代表・秋津福音教会主任牧師

神戸輝明 グレイスライフチャーチ協力牧師 小山健 岐阜純福音教会主任牧師

### セミナー講師

滝元順、瀧元望、Mark Busby 日本バプテスト宣教師団宣教師

会場：新城教会 愛知県新城市富沢 407-1

アクセス：JR 飯田線茶臼山駅すぐ、新東名新城 IC より 10分

### 参加費用：

登録費無料

宿泊 ¥500 ※寝袋を持参ください。

朝食 ¥500 昼食 ¥1,500 (4歳以上小学生以下 ¥500)

※12/14 までの早期登録で大人昼食代が ¥1,000 に！

※宿泊は寝具の用意がありません。

シャワールームは使用できます。寝袋タオル等ご持参ください。



食事準備等のため、事前登録にご協力ください。  
またお得な早期登録のご利用を！！

お申し込みは左記の QR コードから  
もしくはリバイバルミッション事務局まで

2026年は聖霊の火を韓国の地で受け取ろう!

# 蒙韓日合同リバイバル聖会 2026 in Korea

23-27 Feb. 2026

会期○2026年2月23日(月)~2月27日(金)

会場○加平オリエンビジョンビレッジ(韓国京畿道加平郡)

参加費○500,000₩(約53,000円(11月19日のレート)(宿泊代、食事代、バス代、観光費等)

※現地にてウォンで徴収します。※日本~仁川国際空港への航空券は各自手配

	2/23 (月)	2/24 (火)	2/25 (水)	2/26 (木)	2/27 (金)
スケジュール	日本各地空港 ↓ 韓国仁川空港 14時集合 チャーターバス ↓ 蒙韓日合同聖会 コリアンナイト 加平オリエンビジョンビレッジ宿泊	蒙韓日合同聖会 モンゴルナイト 加平オリエンビジョンビレッジ宿泊	蒙韓日合同聖会 ジャパンナイト 加平オリエンビジョンビレッジ宿泊	加平からバスで ソウル市内へ 観光・ショッピング 夕食(各自) ソウル近郊ホテル宿泊	ソウル近郊ホテル ↓ 仁川空港 (解散) ↓ 日本各地へ

※スケジュールは変更することがあります。

第一次参加締め切り○2025年12月30日(火)

※お申し込み、お問い合わせはリバイバルミッション事務局まで

## 神様は今、新しいことを行っています!!

神様は出会いの祝福を与えてくださるお方です。新しい出会いを通して、新しい祝福の扉を開いてくださいます。2011年に春川で行なわれた日韓合同春川リバイバル集会は忘れることができません。日本から多くの方が参加され、一緒に礼拝をささげ祝福された時を持ちましたが、その後、新しい扉が開かれ、多くの美しい実を結ぶことができました。そして神様はモンゴルとの新しい出会いを開いてくださり、2024年6月には日韓豪連合リバイバル集会をモンゴルで、2回目の集会を2025年2月に日本で行いました。集会のたびに、聖霊の油注ぎがあふれています。来年2月には韓国で3回目の集会が開かれます。日本からたくさんの方々が来てくださると信じています。神様は北東アジア3国の出会いを大いに祝福してくださっています。「もしひとりなら打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ燃りの糸は簡単には切れない。」(伝道書4:12)とあるように、北東アジアの3国が三つ燃りの糸となって進む時に、より強力な神の国の前進を成し遂げ、かつて経験したことのない主の驚くべき新しい御業が拡張されていくことでしょう。

期待して春川に来てください!



主香教会 イ・ビョン Chol 牧師





# Christmas Special Concert & Message

クリスマススペシャル■コンサート&メッセージ

ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父。平和の君」と呼ばれる。イザヤ書9章6節

賛美●ジョン・フルカー (Key&Vo)  
ティム・ケプラー (Vo)  
リオネシア・マクグリフ (Vo)  
メッセージ●田中進

YouTube  
配信

12/11 木 20:00~

◆新しいお友達にもぜひご紹介下さい。  
◆祈りのリクエストはスタッフでお祈りさせていただきます。課題は以下まで  
revivalmission.pray@gmail.com



## Zoom de フェロシップ

今年1年も Zoom de フェロシップにご参加下さりありがとうございました。来年2026年も各クラスとも、皆様のご参加をお待ちしております。今年最後のフェロシップ、Zoom de お会いしましょう！

### ワカモノトークルーム

12月1日[月]20:00~

●MC/杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲  
●アドバイザー/平岡新人

若者クリスチャン集まれ！ともに喋ってともに祈ってともに励まし合いましょ！トークテーマも募集中です。

### 韓国語

12月9日[火]20:00~

●講師/チェ・ヨンドウ

49回続いた韓フェロ！主の恵みはまだ続きます！

### 神学校OB

12月23日[火]20:00~

●司会進行/田中進、平岡新人

リバイバルを志した仲間たちが再びzoomで集まり祈り合うひと時です。お気軽にご参加ください！

### ブッククラブ

12月25日[木]20:00~

●司会進行/平岡新人

信仰と恵みを分かち合う読書会です！！

### Zoom de 祈禱会

12月15日[月]20:00~

「目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。」コロサイ人への手紙 4章2節  
祈りを通して宣教が前進するように、また互いのためにも祈り合う時間です。

wakamono  
worship  
wave



~1月すりだぶ~ vol.57  
「主のみもとで休もう」

全力で馬鹿げたい！2025年！こまごま一息、神様ののみもとで休まり、賛美と祈りを持ってもっと神様に近づく時になったらと願っています。アコースティックでお送りする予定です。お楽しみください。

1/17 土 17:00

会場●リバイバルミッションセンター 愛知県新城市富沢 407-1

YouTube  
配信予定



いつもあたたかいご支援とお祈りを、心より感謝申し上げます。街には冬の気配が漂い、暖かな灯りが恋しくなる季節となりました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。ご報告のとおり、9月の収支はプラスとなり、皆さまのご支援とお祈りに心から感謝いたします。しかし、年度全体で見ると依然として赤字が続いており、リバイバルミッションの働きを継続していくためには、皆さまのお祈りとご支援が欠かせません。どうか今月も、私たちの活動を覚え、祈りとご支援で共に歩いていただけませんか。皆さまのご支援が、福音の種をより広く、より深く実らせる力となります。小さなご協力も、共に喜びを分かち合い、福音を前進させる大きな力となります。慌ただしい時期ですが、皆さまの上に、希望と実りあふれる季節になりますように。

●献金送付先.....  
三菱UFJ銀行 / 名古屋営業部 普通 2569313  
ゆうちょ銀行 / 振替口座 00860-0-33814  
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



### ●会計報告2025年9月

収入		支出	
一般献金	1,047,110	事務運営管理費	1,167,958
集会献金・参加費	274,750	一般旅費交通費	34,435
国内宣教指定・集会献金	1,065,115	通信費	213,357
世界宣教指定・集会献金	9,000	印刷費	179,399
霊的戦いセミナー・献金・参加費	1,375,800	国内宣教諸経費	1,205,045
受取利息	64	霊的戦いセミナー諸経費	75,241
		集会諸経費	250,673
		世界宣教諸経費	190,439
		銀行借入返済	351,479
収入合計	3,771,119	支出合計	3,668,026
		1ヶ月間差額(9月)	103,093

クレジットカードでも献金出来ます。



フリーダイヤル ☎0120-291-372  
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1  
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220  
✉office@j-revival.com  
ホームページ <http://www.j-revival.com>  
※次回ニュースPlus1月号 (vol.18) は12月21日 (日) 発行予定です。



リバイバルミッション情報  
祈りのLINE登録してお祈りください！



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します！  
◎友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。  
Facebook, Instagram, X, YouTubeのアカウントがあります。